



写真：ルリビタキのオス（撮影：令和3年2月1日）

「ルリビタキ」

ルリビタキ *Tarsiger cyanurus* ヒタキ科ルリビタキ属

瑠璃色の冬の使者

赤や黄色に山肌を彩っていた葉が落ちると、霧島山にも冬が訪れます。

冬、多くの生きものたちは寒さのため活動を最小限に抑えて冬眠します。暖かい地域に渡り日本を離れていく種類も多いのですが、逆に他国から日本に渡ってくる野鳥もいます。「冬鳥」と呼ばれる野鳥の中でも美しいルリビタキもそうです。

メスは地味な黄土色をしていますが、オスはまさに瑠璃色の羽をもちます。林縁の少し暗い場所を好むのでなかなか陽の光の当たる場所に出てきてくれませんが、タイムイング良く見れた時はその鮮やかさに驚きます。「ピッ、ピッ」というジョウビタキそっくりな鳴き声ですが、ルリビタキは時々「グッ、グッ」と低くこもった声を出すのが特徴です。

落葉し、森の中の見通しが良くなる冬は野鳥観察をはじめには最適なシーズンです。双眼鏡と、暖かい服を着て美しい野鳥たちとの出会いを楽しんでみませんか。

（文）えびのエコミュージアムセンター

霧島山の
めぐみめぐる
えびの
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市
LINE公式アカウント



えびの市広報
Facebook



「マチイロ」
マチを好きになるアプリ

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。